

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【外国語／英語表現Ⅱ】

1. 対象（実施を想定する学校・生徒の実態の概要）

CEFR B1レベル。英語の4技能（読む・聞く・話す・書く）において、個人内差がある。人間関係が良好であり、グループワークに積極的に参加することができる。

2. 単元名「Lesson 8 Convenience Stores: the Keys to Their Success」（数研出版）（全7時間）

3. 単元で育成すべき資質・能力の三つの柱につながる評価規準

①知識・技能	・自らの考えを書く上で必要となる語彙や表現を、複数の考えるための材料より選択し、適切に用いることができる。
②思考・判断・表現	・複数の考えるための材料から得た知識及び視点をを用いて、自分の考えを整理・構築することができる。 ・理由や根拠を整理し、自分の意見を論理性に注意してまとまりのある文章で書くことができる。
③主体的に学習に取り組む態度	・複数の考えるための材料を通して、社会的な話題について多様な視点から捉えようとしている。 ・身近な話題について適切な理由や根拠を示しながら伝えようとしている。

4. 本時の目標

（略）

5. 授業展開【 本時 ・ 単元 】

解決したい課題や問い
コンビニがより多くの人々に愛されるために行う未来のサービスとは何か？ What service can convenience stores provide to be able to succeed in the future?

考えるための材料A	考えるための材料B	考えるための材料C	考えるための材料D
【教科書本文】 コンビニの成功の鍵について書かれた英文。	【エッセイ】 コンビニのメリットとデメリットについて書かれた英文。	【動画】 外国人から見た日本のコンビニについての動画。	【写真と図】 日本社会の将来について想起させる画像や図。
想定される活動	想定される活動	想定される活動	想定される活動
コンビニの成功の鍵について読みとり、3つのポイントを表に整理する。 ・商品陳列の工夫 ・店内が見える大きな窓 ・商品棚の工夫	読んだ内容に基づいて、24時間営業について、環境面など複数の視点から考え、自分の考えをまとめる。	視聴したビデオを参考にしながら、コンビニの日本での成功の鍵について考えを深めると共に、様々な人々にとって便利なサービスについて考える。	以下の内容について他教科で学んだことを踏まえて話し合う。 ・Society5.0 ・インバウンド ・超高齢化社会 ・環境破壊 等

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

<p>【第1時】</p> <p>①教師は生徒とのやり取りを通じて、生徒からコンビニが人々に好まれる理由等についての考えを引き出すとともに、本単元の「解決したい課題や問い」を提示する。</p> <p>②問いに対する自分の考えをできるだけ多く書き出す（文でなくてよい）。</p> <p>③グループで、コンビニに関する以下の内容について意見を出し合う。 Who（誰が使うのか）、When（いつ使うのか）、Where（どこにあるのか）、What（何が買えるか/できるか）、Why（なぜ便利なのか）</p> <p>④考えるための材料Aを読み、コンビニの成功の鍵について表にまとめる。グループで表を用いて口頭で説明し合う。</p>

【第2時】

- ①グループで、コンビニのメリットとデメリットについてTチャート上にキーワードで意見を出し合う。個人で、出し合ったキーワードから1つ選び、その理由等を付け加えた文を書く。
- ②グループ内で役割を決め、コンビニのメリットとデメリットが書かれた材料Bを読み、要点をメモする。ペアで、メモを用いて読んだ内容を口頭で伝える。
- ③コンビニのメリットとデメリットについて自分の考えをまとまりのある文章で書く。グループで、書いたものを読み合い感想を述べ合う。

【第3時】

- ①材料Cを視聴し、外国人から見た日本のコンビニの良い点と海外との違いを表にまとめる。
- ②グループで、材料Dを参考にしながら、日本の将来の姿とそこで便利と思えるサービスについて意見を出し合う。
- ③グループで、本時までに学習した内容や表現を用いて、解決したい課題や問いについて意見を出し合う。また、話し合った内容を踏まえて、ライティングプランナー（フォーム）を用いて、自分の考えをまとまりのある文章で書く。グループで、書いたものを読み合い感想を述べ合う。

【第3時】 ③における思考のプロセス

- ▶日本は**超高齢化社会**になるからなあ。▶**お年寄り**にとって親しまれるサービスを考えよう。▶**海外の観光客**も多く呼びたいし、労働力も**外国人**に依頼したりするよね▶**外国人に愛される**コンビニになるにはどんなサービスが考えられるかなあ。
- ▶前時に24時間営業は**環境**に良くないことを学んだよね。▶エネルギーも消費するし、ゴミも多く出るね。▶より**環境に優しい**コンビニのサービスって何かなあ。▶海外のコンビニはガソリンスタンドに併設されているところが多いみたい。▶将来の水素ステーションや電気自動車の充電所併設させたりするのも良いかも。▶会員制のエコポイントを買って物やチャージで増やせるようにしたらどうかなあ。

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

- ・ To be able to succeed in the future, convenience stores should have **a service for all ages**. Japan will be **an aging society** in the near future. There will be **more elderly people** who live alone far away from their families. They will find it difficult to walk to the store. Now, some convenience stores have **a catering and delivery service**. In order to be more convenient for these people, if convenience stores can check their health condition by talking with them and send the information to their family by an app, they will be relieved to know they are fine. In this way, convenience stores will be loved by customers of all ages.
- ・ To be able to succeed in the future, convenience stores should have **varieties of food for people from all over the world**. Japanese convenience stores have many types of food. However, these are mainly for Japanese people. If they can provide **more food from different cultures**, for example, Indian and African cultures, everyone, not only Japanese but foreigners, will be able to enjoy different cultures even while living in Japan.